

NGO・外務省定期協議会

～釜山HLFフォローアップに係る
日本政府の対応について～

平成24年12月14日

外務省 国際協力局

開発協力企画室

ポスト釜山 フォローアップ・タスクフォース

グローバル・パートナーシップ/指標

- タスク: パートナーシップ作業取決め、指標策定シエルパ会合への参画
- 進捗: 本年6月、DAC援助効果作業部会にて大枠に合意し、本タスクは終了

アンタイド

- タスク: ①アンタイド化行動計画のレビュー、②報告の質等の向上、③援助審査中間レビュー準備
- 進捗: 継続中

透明性

- タスク: ①透明性共通スタンダード策定過程への関与、②実施計画の策定/公表
- 進捗: 継続中

成果・カントリーシステム

- タスク: ①途上国ベースの成果枠組に係る各国情報収集を検討中
- 進捗: 検討中

官民連携

- タスク: 民間セクタービルディング・ブロック(BB)参加(我が国の事例共有等)
- 進捗: 代表部中心に現地BB会合に出席

南南/三角協力

- タスク: 南南協力/三角協力BBや、その他国連南南協力国際会議等に参加等
- 進捗: JICA中心に活動中

ジェンダー推進

- タスク: 開発におけるジェンダー主流化/エンパワーメントに係る日本政府の取組情報を取り纏め
- 進捗: 本年9月に終了

NGO環境整備

- タスク: CSO政策環境整備、説明責任/開発効果への貢献強化の取組み奨励
- 進捗: 具体的な提案につき、CSO側からのご助言募集中

脆弱国支援

- タスク: 脆弱国BB参加
- メンバー: 代表部中心に現地BB会合等に出席

ポスト釜山の枠組 「グローバル・パートナーシップ(GP)」(1)

<GP閣僚級会合>

(1) 会合目的

釜山コミットメント(アンタイド・透明性・援助の予測性など)の進捗確認と政治レベルの説明責任担保

(2) 参加国/機関

釜山HLFに参加したあらゆる開発主体(新興国、CSO、民間セクター含む)

(3) 開催時期・頻度

2013年後半に第一回GP閣僚級会合が開催される予定。その後の開催頻度は18か月～24か月に一度の予定。

<GP運営委員会(ステアリング・コミティー)>

(1) 活動内容

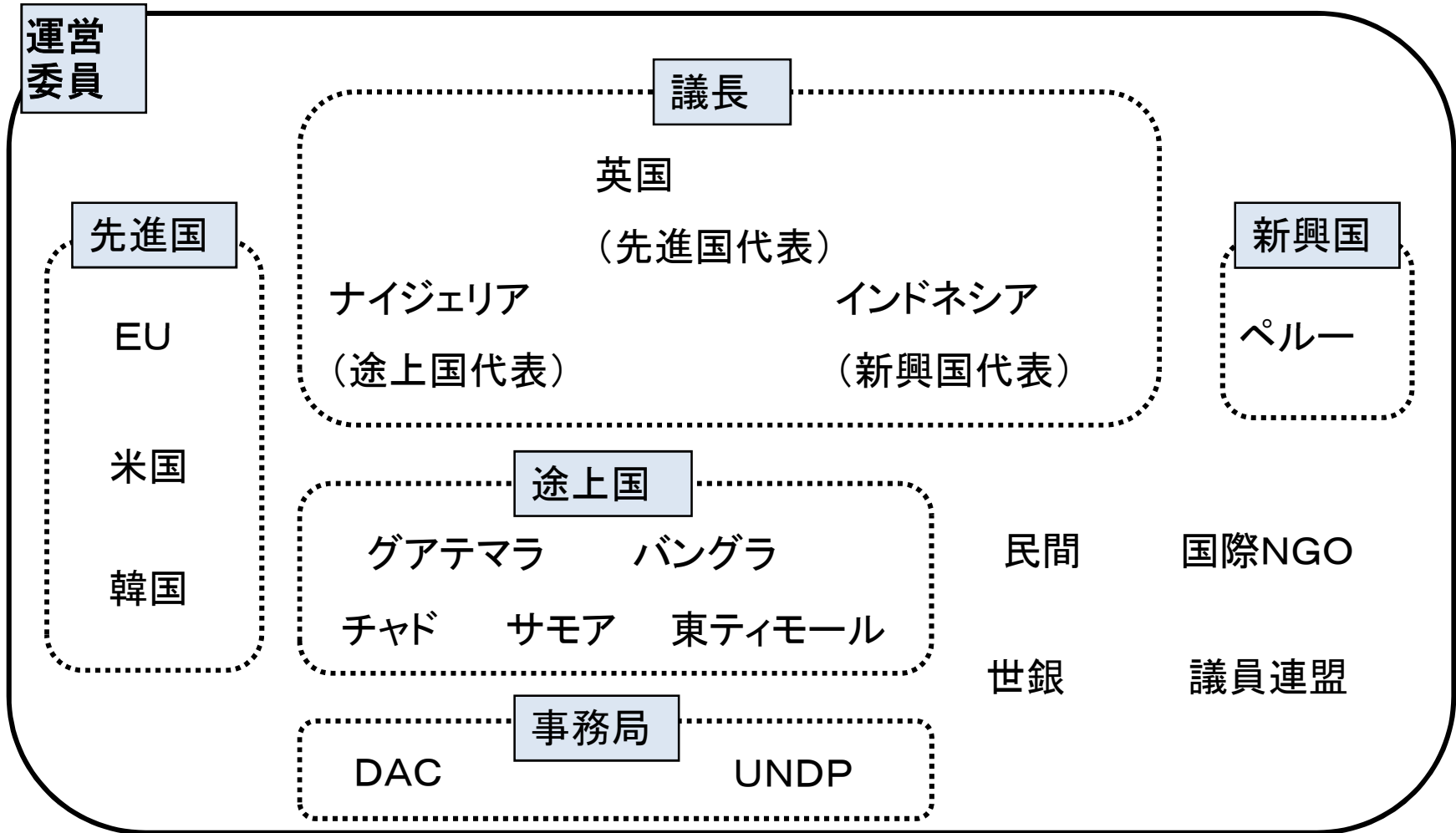
GP閣僚級会合のサブ準備(議題の設定)、他の国際/地域フォーラムとの連携・調整

(2) 開催時期・頻度

2012年12月5-6日に開催。その後、6か月～12か月に一度。

(3) 構成: 合計18(議長3、メンバー15) ※次頁

ポスト釜山の枠組 「グローバル・パートナーシップ(GP)」(2)



ポスト釜山 グローバル・モニタリング指標

1. 成果（成果枠組の活用国／機関）
2. 市民社会（CSO）の開発への関与
3. 民間セクターの開発への関与
4. 援助の透明性（共通スタンダードに基づく実施）
5. 援助の予測性（単年および複数年の援助情報）
6. 援助のオンバジェット化（ディスバース予定額の年間予算書への反映）
7. 相互説明責任
8. ジェンダー（ジェンダー平等に資する公的支出の把握）
9. 途上国のカントリーシステムと組織の活用と強化
10. アンタイド化（完全アンタイドの比率）